

イノベーションの種

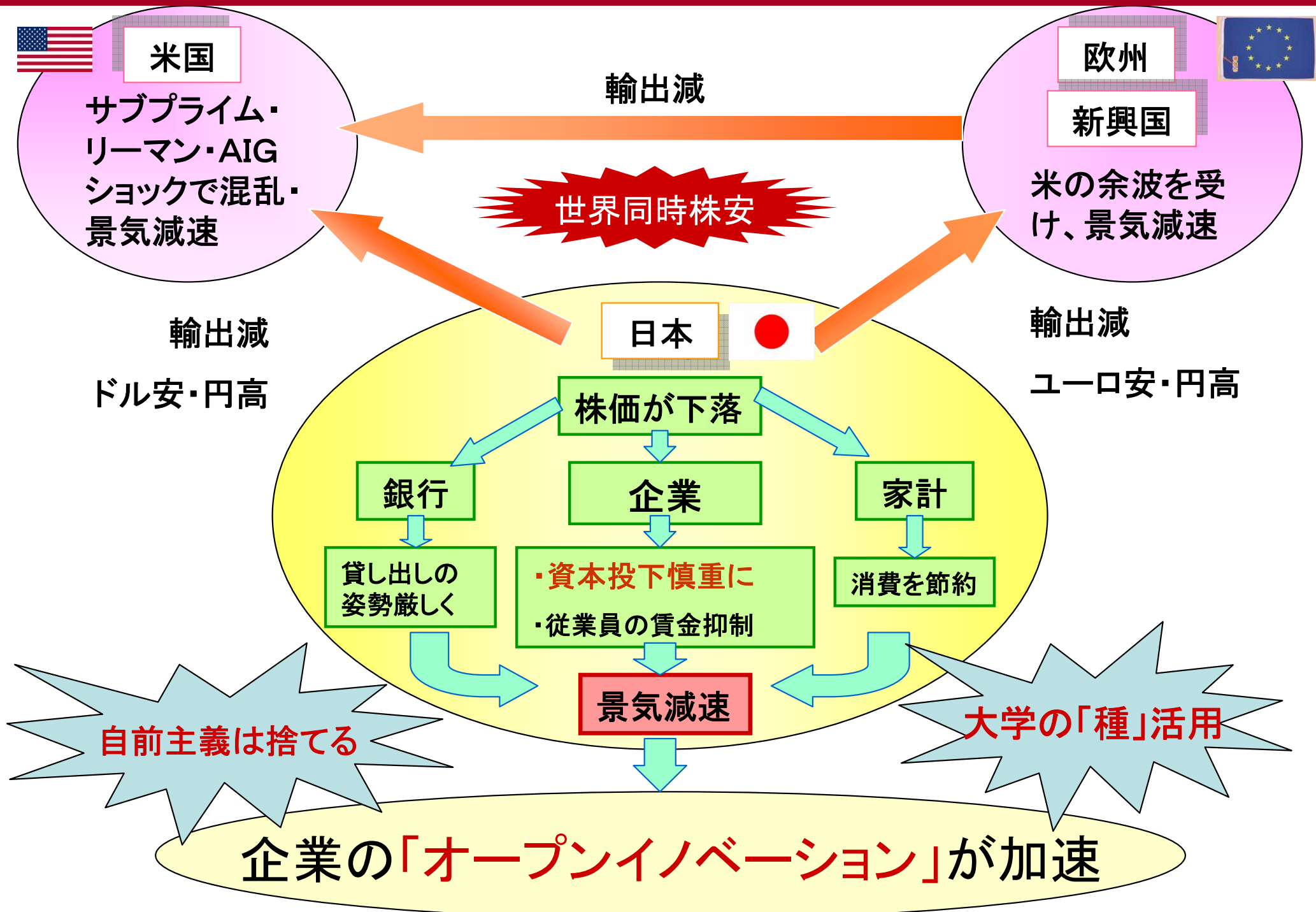
—種は水をやらねば育たない！—

立命館大学

野口 義文

※注:「種」とは、「大学の技術シーズ」の意

世界同時株安は、イノベーションの「種」セールスのチャンス



「種」の宝庫

大学は種＝研究シーズの山。一人の教授の種が3件とすると・・・

東京大学は日本最大の「種」の保有研究機関

東京大学

3,994名



11,982種

早稲田大学

1,909名



5,727種

立命館大学

1,057名



3,171種

「種」の育成

「種」の育成手法は各大学はマチマチ・・・さて、立命館大学は・・・

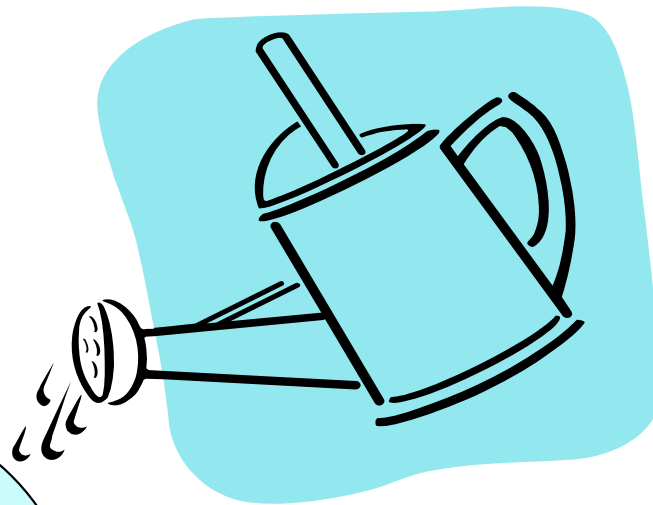
約10億円の学内研究助成で積極支援

立命館大学

1,057名



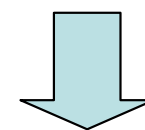
3,171種



学内助成で水やり。
但し、学内競争あり！
2008年度**279名**が活用

【学内研究助成メニュー】

1. 研究専念教員制度
2. ポスドク・プログラム
3. 学術図書出版
4. 国際連携スタートアップ
5. 政策的重点研究助成
など

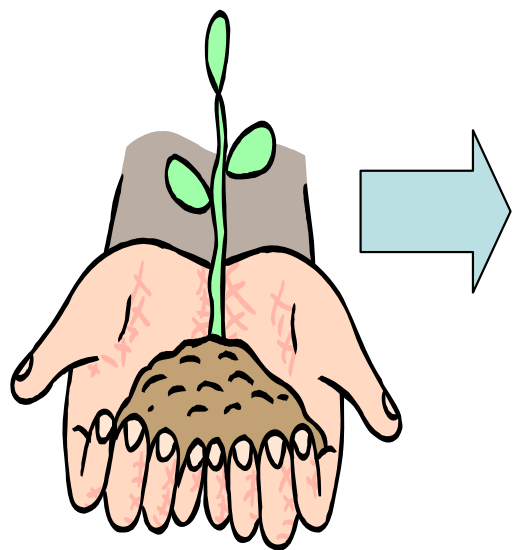


学内で「種」を発芽させ、
良い「芽」にする！

「種」のセールス

「種」が「芽」になれば、いよいよ研究セールスマンの登場！

テクノ・プロデューサーが積極的にセールス施策を展開



「種」というよりも
「芽」か・・・



理工リサーチオフィス85名中
精鋭15名の
テクノ・プロデューサー
が渉外活動を展開

【渉外ツール】

- ・シーズデータシート(A4一枚)
- ・オリジナル企画書(6P程度)

【渉外の「場」】

- ・技術シーズ発表会
- ・各種フェア、フォーラム
- ・シーズメール発信
- ・教員との企業訪問
ならびに来校対応(教職協働)

「シーズ」と「ニーズ」の
マッチングを推進！

渉外スタッフ： 「テクノ・プロデューサー（TP）」とは…

目指すは

「シーズインキュベーションのプロフェッショナル」

- ・ 学科別中心の担当制：06年4月までは“顧客別”担当制)
- ・ 体制：15名（うち、女性3名）、企業就業経験者

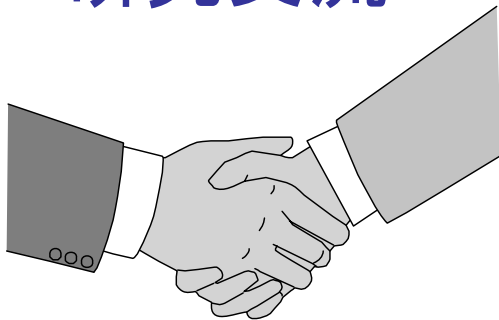
- 研究室の研究計画、外部資金導入計画立案等へのかみ込み
－ 研究室への訪問、研究内容・動向の理解
- 研究シーズの発掘、知的財産のマネジメント
－ 出願・権利化・管理・活用
- 産学連携研究プロジェクトの企画・立案、推進・支援
－ 企業への訪問・来校対応：シーズ紹介、ニーズの掌握
- 公募事業への申請、管理、推進・支援
－ 公募事業（学内外）の情報収集、“単発”から“つなぐ仕組み”への展開
- 研究成果の情報発信、社会（企業・地域）への活用推進
－ 展示会、マッチングフェア；各種媒体への広報、ネットワークづくり

「種」の出荷 (企業との契約)

凄腕TPにかかれば、「種」のマッチングも推進。契約の期待高し！

研究交流手法も基本形から応用形まで多彩なメニュー有り

研究交流



【基本形】

1. 受託研究
2. 技術指導
3. 共同研究
4. 奨学寄附金

【応用形】

1. 公的資金有効活用
2. E+R&Dプログラム
3. ニーズ創成型研究
4. 成果報酬型研究プロジェクト

「種」活用の成功事例 (TPの活躍)

データマイニングを用いたWWWサービス支援システムの研究開発

大学発ベンチャー創出事業

R
RITSUMEIKAN

○教授
D社

研究成果

“大規模2疎値行列から部分行列を抽出する方法”

D社

News & Blog サービスとして製品化

支援



科学技術振興機構

立命館大学

「特許を受ける権利」の譲渡

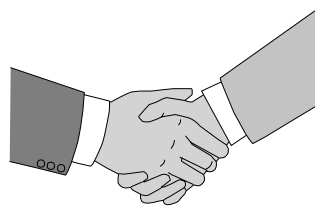
対価: 現金 + 新株予約権

D社

R
RITSUMEIKAN

大学ならではの支援メニュー

- ・ 公的資金の獲得サポート
- ・ 研究成果を特許出願し保護
- ・ 特許の有償譲渡
- ・ 譲渡対価の一部を新株予約権に置き換え、現金負担を軽減



D社

「種」のビジネス化

- ・ 公的資金を活用した新技術開発
- ・ ○教授が取締役に就任
- ・ 大学のシーズを活用した事業展開
- ・ 東証マザーズ上場

産学間の「価値観の差」

=これをどう“埋める”かも重要=

- “スピード”観

- 「1分」 vs 「1日」

※企業 vs 大学

- “面白い”観

- 「特許になる、新事業になる」 vs
「論文になる、学会発表できる」

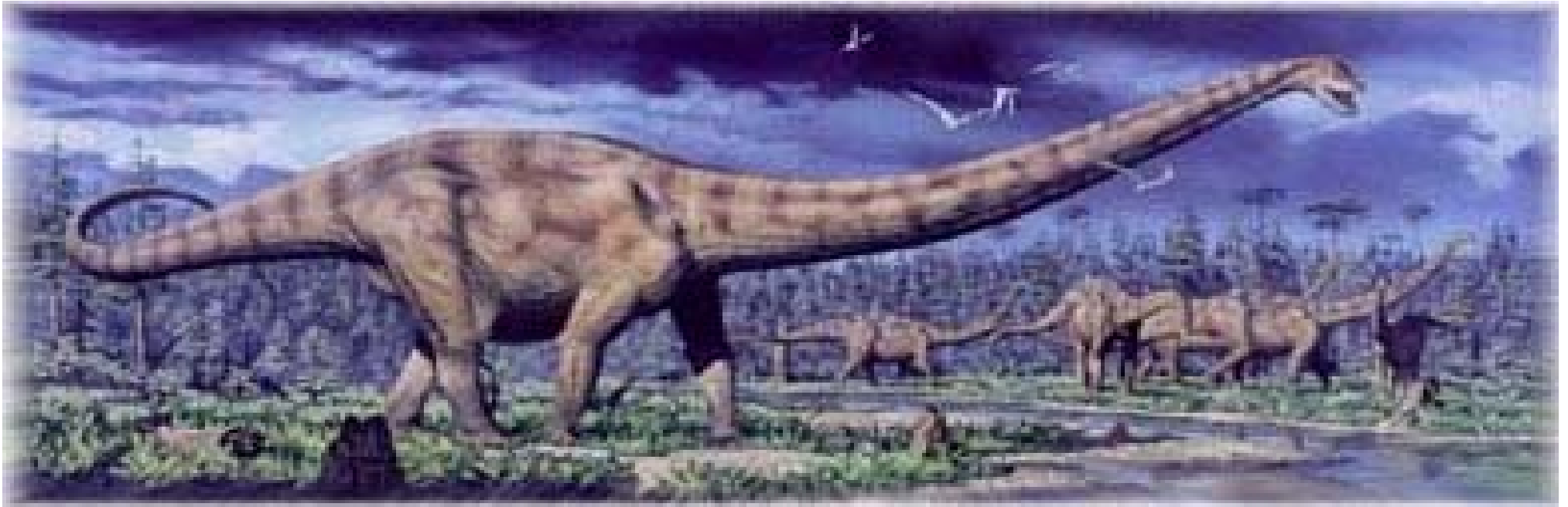
- “出来た”観

- 「試作品、現象解析」 vs 「champion data、コンセプト」

- “報連相”観

- 「定期的に」 vs 「必要な時に」

END



© Mark Hallett

あなたは恐竜？

我々は、イノベーションを恐れず進化する！

※もっと産学官連携の本学詳細知りたい方は、以下へどうぞ！

⇒日経BP「先端技術事業化」サイトに「産学官連携の最前線から」を小職が1年間掲載中！

http://innovation.nikkeibp.co.jp/mailbn/index_etb.html